

21世紀の文化創造の拠点

# おおた 文化の森

大田文化の森運営協議会発行情報誌

# 冬

Vol.6  
January

2003

ご自由にお持ち下さい



おおた文化の森

文化の森に Zoom Up

おおたの未来を考える

文化の森「収穫祭」を終えて

Bunkanomori Topics & Event Calendar

話題の人

わが街おおたのグッドパートナー

みなさんのおかげです

「森のはっぴ〜」

「文化の森」にすむ木の葉の妖精で、とてもすばしっこく「文化の森」の中を目にも止まらぬスピードでかけめぐっています。いたずらが大好きで、「文化の森」にきた人たちに魔法をかけます。かけられた人たちは帰る時にはとってもハッピーな気持ちになってお家に帰ります。

ご意見ご感想をお寄せ下さい。e-mail:bunkanomori@nifty.com

いい色 いい仕事

## Mikuni®

ちょっとしたリフォーム  
修理・おそうじは

### 株式会社ミクニ

TEL.03 (3775) 9201 FAX.03(3775)9251

## ISO9002 認証取得

本社：〒143-0023 東京都大田区山王1-2-10 ミクニビル  
URL <http://www.k-mikuni.co.jp> E-mail [mikuni@k-mikuni.co.jp](mailto:mikuni@k-mikuni.co.jp)

住まいのことは何でもお任せください。

## + 住まいの救急隊員 +



# 日本文化とアジア文化の画期的 文化交流 開催決まる！

平成十五年二月二日(日)  
午前十時から午後六時

大田文化の森運営協議会では、異文化交流プロジェクトの初のイベント企画として「日韓親善文化交流」をすすめているうち、国交回復がまだ難しい在日朝鮮の方々も含めての一大イベントに盛り上げてきました。

食文化、衣服文化、芸術文化の三つの柱から国境を越えての文化交流となります。

多数の方のご来場をお待ちしております(入場無料)。

また、二月二日から四日まで、小・中・高生から大人までの作品展示(絵画・工作、他)を行います

## 「わくわくコンサート」

リズムに合わせてみんなで楽しもう！  
「家族みなさんでお出かけください。」

小さなお子さんから大人の方まで、楽しみながら演奏を聴けるコンサートです。

客席とステージが一体となるような雰囲気の中で、音楽を体感、体験できるコーナーもあります。

大田区内で活躍するブラスアンサンブル団体による演奏で、テレビを通じて流れてくる、聞き覚えのある、おなじみの曲を中心に楽しめます。

▼二月十五日(土)  
午後一時三十分開場、二時開演  
文化の森ホール  
(終了予定午後四時)

入場無料(当日直接会場へ)  
入場受付開始・午後十二時より  
先着二百五十一名様まで



ミニコンサートはこんな雰囲気です。みなさんお気軽にどうぞ。

「予定されているイベント」  
文化の森ホール 子どもものうたコーラス、少女合唱、楽器演奏、ヴァイオリン演奏、舞踊、演劇、着付け、阿波踊り、手話ダンス、ほか。

▼調理室、集会室 キムチ、チヂミ、花巻寿司などの販売。  
▼展示コーナー 貝細工や絵画、日本キルトとアジアキルトなど。  
▼多目的室 劇「三年峠」の上演とワークショップ。

など、楽しいイベントが友好の輪を広げます。



# ■全館イベント 「種まき祭」開催！

大田文化の森では、春の「種まき祭」でまいたタネが、秋の「収穫祭」で実を結ぶとのコンセプトの中で、この大田文化の森が、実り多き森になる様にとの、わがいをこめて、皆さんと一緒に、たくさんの方のタネをまきたいと、イベントを企画します。

ワークショップなど、参加・体験の出来る内容のイベントを数多く企画して、多数の方のご来場をお待ちしております。ぜひ、遊びに来てください。

## 若者たちの居場所をみつめよう！

### ジュニアなるほど講座

この講座は、若者自らが居場所を作りだすために、大人ができることを提供することから始まり、若者から企画することへと発展させます。

め役割分担をして、これからの新しい時代に向けて、その実を上げていく時期にきています。

若者が自らの居場所づくりを始めると、地域の大人と話し合いながら自らのルールづくりをし、地域への社会参加へ繋がるよう期待します。

子どもや若者にかかわることを、子どもや若者が自ら決めてゆき、また、そのために存在する青少年健全育成に関わる委員や大人たちが、子どもや若者の視点から、互いをネットワーク化し、意味を考え行動を簡素化し、本当に必要と思われることの実現のためです。

#### 「講座のテーマ」日程の詳細は3ページ参照

- 地域を知ろう(1・2)
- 地域のおじさんから
- 僕たちの居場所づくり
- 大田区はこんなところ

そのような大人の環境整備の努力の延長上に、将来若者たちが結婚して家庭を持ち、子育てをすることになったとき、大田区の自分を育ててくれた地域に住み、社会参加もしたいと考える若者たちへと、自らの力で育っていただきたいと思えます。

## 「芸術祭」プロジェクト速報！

平成十五年度、大田文化の森運営協議会では「芸術祭」を開催いたします。

音楽、演劇、邦楽、アートなどの部門を中心に展開し、質の高い

芸術・文化を多くの区民のみなさまに提供して参ります。

詳細は次号以降、随時発表いたします。また、前売券の発売も開始となります(三ページ参照)

# パソコンで趣味の世界を広げてみませんか？

サークル活動を楽しんでいる皆様、パソコンを使って趣味の世界を広げてみませんか？ イーテスが皆様のサークル活動をサポートします。個人から少人数(6人~8人)のグループレッスンまで、レベルに応じたご指導を致します。

<p><b>Problem</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サークルの仲間募集をしたい</li> <li>●作品をみんなに見て欲しい</li> <li>●旅行記や写真集を作りたい</li> </ul>	<p><b>Solution</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★メールの送受信</li> <li>★ホームページ作成</li> <li>★ブック制作</li> </ul>
--	--

**e-Tes** 有限会社 **イーテス** 〒143-0023 東京都大田区山王3-32-1 ロイヤル山王105 URL ■http://www.e-tes.co.jp  
TEL.03-5742-8481 FAX.03-5709-2051 E-mail ■info@e-tes.co.jp

※イーテスは、大田区の異業種交流グループ「TES」(大田女性企業家ネットワーク)の有志が立ち上げたITコンサルティング会社です。

## 大田文化の森運営協議会主催企画 & 講座

**寄席「たのしみ亭」** 文化の森ホール  
 全席自由：前売¥1000／当日券¥1500  
**2月19日水曜午後6時**（発売中）  
 春風亭鯉昇、春風亭朝之助、桧山うめ吉

**たのしみ亭特別企画** 文化の森ホール  
**「春の権太楼まつり」**（発売中）  
**3月17日月曜～19日水曜各午後7時**  
 17日：春風亭菊朗、柳家小雪、柳家権太楼  
 18日：入船亭扇治、有紀天香、柳家権太楼  
 19日：林家たい平、林家正楽、柳家権太楼  
 全席指定：3回連続券¥5000☆  
 前売1回券¥2000☆／当日券¥2500

**「ジュニアなるほど講座」** 集会室  
**1月18日、2月1日/15日、3月1日/15日**  
**毎回土曜午後2時～4時** 無料  
 若者や中高生が地域や行政の仕組みを知り、やりたいことを実現する知識を持って、自らの居場所つくりを始める。

**「建築基準法の学習会」** 集会室  
**1月19日日曜 午後1時30分～4時**  
 ¥500 私たちの住み良いまちづくりに欠かせない知識を得る為の講座です。

**みんなでつくろう** 集会室、調理室等  
**1月22日水曜午後3時～5時**  
**2月15日土曜午前10時～12時**  
**3月12日水曜午後2時30分～4時30分**  
 子どもたちにもできる事はたくさんある。遊んで、楽しんで、大人をビックリさせちゃおう。

**新垣 勉 コンサート** 文化の森ホール  
**1月29日水曜午後7時** 入場券は売切れとなっておりますご了承ください。

**おはなしのへや** 午後3時～30分間  
**毎月第1、第3水曜日** 4階の保育室  
 絵ほんや紙しばいの世界をのぞいてみませんか。小学校にいらっしゃるお友だちあつまれ！自由にきてね。 無料

**おじいちゃんおばあちゃんのミーティングルーム**  
**毎週水曜午前10時～11時45分**  
 元気なおじいちゃんおばあちゃんの交流の場です。第2集会室他。 無料

**「メサイア&大田讃歌を歌う会」**  
**1月～来年3月、第1第3月曜、第4日曜**「メサイア&大田讃歌」の練習。  
 初心者&学生(中学以上会費半額)も大歓迎。発声、音取り、パート練習を中心に実施。会費：月3回参加¥3000  
 /月2回参加¥2000 多目的ホール  
 4～12月まで引続き練習。12月演奏会予定。練習：1月19日/26日、2月3日/17日/23日、3月3日/17日/23日

**「文化の森のサロン」** 毎月第3火曜  
**1部：午後1時～フリースペース**  
**2部：午後7時～コミュニケーション**  
 集会室と多目的室。自由な交流の場。

**プラスアンサンプル**  
**「わくわくコンサート」**  
 ～聴いて、さわって 楽しもう～  
**2月15日土曜午後2時** 文化の森ホール  
 幼児から大人まで、みんないっしょに楽しもう。入場は当日先着251名様まで。入場無料。ペピーカー来場可。

**異文化交流プロジェクト 日本文化とコリア文化の親善交流**  
 ●2月2日(日) 午前10時～午後6時 入場無料 (企画内容は2頁参照)

食文化・衣服文化・芸術文化の分野から、お互いの国々の文化を披露して親善を深めます。みなさまのご来場をお待ちしています。  
 午前10時～午後6時 「衣服・芸術文化交流」文化の森ホール  
 午前10時～午後5時 「伝統文化の展示と即売会」展示コーナー  
 午前11時～午後5時 「食文化交流」調理室、集会室  
 午後1時～午後3時 「劇『三年味』上演とワークショップ」多目的室

**全館イベント『種まき祭』 ～みんなで楽しく参加しよう！～**  
 ●3月21日(金・祝) 春分の日 午前10時～午後4時

春の「種まき祭」でまいた種が秋の「収穫祭」で実を結び！をコンセプトに、文化の森が「美り多き森」になるようお願い企画いたしました。ワークショップ他、参加・体験できる内容を数多く企画。ぜひ、みなさまご参加ください。  
 ★参加無料(企画により実費が必要な場合もあります)。

**大田文化の森『芸術祭』プロジェクト チケット発売 速報!!**  
 いよいよ「芸術祭」プロジェクト第1弾のチケット販売を行います。

**川島成道 ヴァイオリンリサイタル**  
**5月25日日曜午後3時** 文化の森ホール  
 発売日：2月21日 金曜午前10時より  
 全席指定：3500円 ★特別電話予約  
**03-3750-1555** (10～15時)

**ケマル・ゲキチ ピアノリサイタル**  
**6月22日日曜午後3時** 文化の森ホール  
 発売日：文化の森/3月10日  
 アプリコ、プラザ/3月11日  
 全席指定：3000円☆ 曲目未定

## 平成15年度「公募企画」募集開始!

大田文化の森運営協議会が募集する「公募企画」とは、区民参加による運営を行う「大田文化の森運営協議会」の設立コンセプトの一環です。  
 「文化の森」の施設を用いたイベントや、講座などの企画・実施運営を公募し、採用された企画は施設使用料・付帯設備使用料の免除、事業の助成の特典などで区民のみならずの文化活動を支援いたします。

公募企画は「ホール棟」・「集会棟」・「広場」を利用した企画の募集を開始いたします。  
 今回の「第3回公募企画募集」の大きな特徴は、運営協議会の各実行委員会：「誰もが楽しめるプロジェクト」「子ども、若者のプロジェクト」「異文化交流プロジェクト」「まちづくりプロジェクト」「種まき祭」「収穫祭」の実行コンセプトを基準にした募集になります。

【実施期間】平成15年5月から平成16年3月までに実施の企画  
 【応募要項配布期間と場所】  
 2月3日(月)より 2月28日(金)まで  
 大田文化の森、区民プラザ、アプリコ、区役所区民生活課  
 各文化センター、各図書館にて配布開始

【申込方法】  
 応募用紙にご記入のうえ郵送。2月28日(金)消印有効  
 【応募者向け説明会】  
 2月12日(水) 午後2時と7時の2回開催  
 大田文化の森4階、第3・第4集会室

【申込先】大田文化の森運営協議会 〒143-0024 大田区中央二丁目10番1号

## 平成14年度「公募企画」のご案内 大田文化の森運営協議会 公募による事業

**「手づくりおやつ」お菓子やパンを焼いてみよう** \*定員満了  
 1月18日/2月15日各土曜 午前10時～12時 調理室  
 クッキー、パウンドケーキ、パンの3種を焼いてみよう。

**フレスコ画に挑戦「植木鉢にフレスコしよう」** \*募集人数20名  
 参加費・材料費：1000円 1月18日土曜午後1時～5時 工芸室  
 フレスコ画を学び、最後に植木鉢にフレスコで絵を描く。

**「銭湯」再発見** \*募集人数25名 参加費：2500円他実費  
 ①1月18日第2集会室 ②2月1日江戸東京たてもの館見学  
 ③2月8日区内銭湯入浴ツアー ④2月22日第2集会室  
 各土曜午後2時～3時30分(③のみ午後3時～6時)  
 消えゆく銭湯文化の講座、銭湯建築見学、入浴ツアーで「癒しの空間」としての銭湯を考える。

**手づくりの楽しさで身につけるアクセサリを** \*定員満了  
 1月28日/2月18、25日各火曜 午前9時30分～12時 第2集会室  
 ビーズ、布、革のネックレス、プレスレット、リングなどを作る。

**家庭薬膳講習会** \*定員満了  
 2月1日土曜 午前10時～午後1時 調理室 薬食同源の中国三千年の知恵を毎日の食事に取り入れ健康に過す。家庭簡単薬膳講習会。

**心と体のリラックス** \*募集人数25名 参加費：1回700円  
 2月14日金曜 午前10時～午後12時 第2集会室 ストレスと上手につき合うには?心理士による自分でケアする方法とカウンセリング

★この情報は12月20日時点の情報です。変更が生じた場合はご了承ください

【講座の受講を希望する方は】(主催事業・公募企画とも)  
 各種講座の受講を希望する方は、往復はがきに、ご希望の講座名と、住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、締切日までに下記の宛先へご応募ください。応募多数の場合は抽選となります。講座により事前に受講料の入金確認が必要な場合があります。その際は下記の口座へご送金願います。  
 郵便振替 口座番号/00110-5-23085 口座名義/大田文化の森運営協議会  
**大田文化の森運営協議会** 〒143-0024 大田区中央二丁目10番1号

## ホームヘルパー大募集!

.....資格の無い方.....

**当社無料講習** (テキスト代のみ負担)  
 受講後、お仕事ができます。

**仕事内容** 簡単な家事からあります。  
**初心者の方でも** 安心の研修制度があります。

.....有資格者の方.....

資格:20歳以上 時間:8:00～21:00  
 時給:家事1,100円～、複合1,350円～  
 身体1,600円～、休日25%増

あなたの希望の曜日・時間で働けます。(週1回3時間～)  
**社員登用制度** 社会保険完備



お問い合わせは、  
**TEL. 03-5713-0921**

株式会社 **やさしい手** 大田店

大田区西蒲田5-27-13 KSビル2F

# おおたの未来を考える 区民と行政の協働

文化の森ホールで昨年の十一月二日、「おおたプラン2015」の講演会が開かれました。

## ■「安心・輝き・潤い」のおおた

このプランは、大田区が平成十三年三月に決定した長期基本計画（二〇〇一〜二〇一五）で、「安心・輝き・潤い」の都市をめざしています。講演会の開催は、地元の新井宿自治会連合会の岩井久年会長が「このプランを勉強しよう」と提案したのがきっかけとなり、同自治会連合会と運営協議会の共催、大田北地域行政センターの協力で行われました。

## ■おおたの未来像

第一部は、運営協議会会長の野村が「長期計画にみる大田の未来像」について語りました。

二十一世紀の大田区は「安全で快適な、活力と思いやりのある文化福祉都市」を目標としています。この長期計画の八つのリーダーシッププラン——重点計画（①健康

と福祉、②子ども、③産業、④文化、⑤環境、⑥都市づくり、⑦水と緑、⑧防災）を、スライドをつかって説明しました。

## ■区民とともにつくる行政・協働

この計画を進めるに当たって、大田区がとくに重点をおいているのが「区民と行政との協働」です。これからの行政は、区民、自治会町会、NPO、企業、各種団体等との連携・協働によって展開されなければなりません。区民、事業者、行政のパートナーシップが大切です。

## ■旧大森第六小学校施設活用事例

この協働の実践事例として、大田区北地域行政センターの野田隆センター長から大森第六小学校施設活用協議会の報告がありました。旧大森第六小校舎を新しい区民の施設として活用するに当たって、二〇〇二年六月、地元の関係者の委員からなる前記協議会が設けられ、区民と行政との協働により施

設活用のあり方を検討し、九月にその提言が区長に提出されました。三月月間の区民の積極的な参加と協働によって、区長への提言がなされたことは画期的なことだと思います。

## ■「協働」が未来を開く

第二部は、大田文化の森の運営も区民と行政の協働の事例として、会長の野村から報告しました。大田文化の森運営協議会は、区が建設した文化の森で、区の助成と、施設管理をする文化振興協会の支援を受けながら、区民の文化活動を支援し、文化の森から大田の文化を発信する活動を進めています。これも区民と行政の協働の新しい試みといつてよいでしょう。

この一年間、多くの文化プレイヤー（文化の森で活動するボランティア）の積極的な参加も得て、「協働」の実が上がってきていると思います。これからは、このような区民の自主的、主体的な活動が、大田の未来のまちづくりを支えることになるでしょう。

大田文化の森運営協議会  
会長 野村銀市

# 文化の森「収穫祭」を終えて

十一月三日、「大田文化の森」はオープンから一年を迎えました。

この「収穫祭」は、「文化を発信する文化施設」を目指し、大田文化の森運営協議会に、文化プレイヤーとして登録している皆さんの「日頃の成果の発表の場」として企画しました。

▼**広場では**、馬込中学のソーラン部の生徒さん達が、ソーラン節を太鼓の音に合わせて素晴らしい踊りを披露し、南高校の生徒さん達が、パラパラを踊りました。

▼**スポーツスタジオでは**、ペーパークラフトや手話ダンスに多くの子ども達が参加し、楽しみました。

▼**集客室では**、大森工業高校の生徒さん達が、おもちゃ病院を開設し、子ども達のこわれたおもちゃ

を一生懸命直してくれました。

▼**文化の森ホールでは**、新井宿福祉園と共催で開催したセレモニーから始まり、八団体の文化プレイヤーの方が、力演奏、そして手品などを演じました。

▼**多目的室では**、作家の尾崎士郎さんの娘さんが講演を行ない、また、井上敏子さんによるピアノ演奏も行われ好評でした。

▼**調理室では**、花巻寿司と手づくりパンを文化プレイヤーの

調理室の様子から、広場の様子から。



調理室の様子から。

▼**美術室では**、バステル画の展示と、ワークショップに予想以上の方々に参加していただきました。

▼**工芸室では**、七つの陶芸グループによる展示と、ワークショップを行い、参加した方々も楽しんで作品づくりに挑戦しました。

▼**展示コーナーでは**、記念キルト展示やワークショップ、フレスク画展示、町づくりマップ展示、記念スタンプハガキ発行を行いました。

▼**情報館マルチメディアコーナー**では、加藤運営委員が中心となり文化プレイヤーの方とチームを組んでパソコンの使い方を指導しました。

どの会場も大勢のみなさんでにぎわい、事故もなく無事に「収穫祭」を終えました。

# 平成十五年年度の組織体制

平成十五年年度の新組織体制は、基本的に前年度の実行委員会形式を継続しますが、特徴は三つあり、芸術祭構想、文化プレイヤー会議、公募システムの変化で、全体の骨子は次の通りです。

- 1 **「実行委員会形式」**（今年度を踏襲）(1)誰でも楽しめるプロジェクト、(2)子ども、若者のプロジェクト、(3)異文化交流プロジェクト、(4)まちづくりプロジェクトが各々実行委員会をつくり、各プロジェクトは大きなテーマを持ち、主旨により年間に複数の企画を実行。また、「収穫祭」「種まき祭」は、全館使用企画として実施します。
  - 2 **「芸術祭プロジェクト」**（音楽、アート、演劇、他）質の高い芸術・文化を区民のみなさんに提供します。
  - 3 **「文化プレイヤー会議」**は新年度の組織の大きな特徴で、文化プレイヤーの新しい方向を創り、運営協議会と一緒に活躍する大きな存在です。
  - 4 **「公募企画部」**各実行委員会のキーワードにそって募集し、実施も実行委員会で行います。
  - 5 **「事業企画部」**運営協議会の独自事業を担当。
  - 6 **「広報部」**情報誌の発行と、外部メディアへの情報提供をします。
  - 7 **「運営部」**運営協議会の方向を考え全体を調整し、役員会をサポートします。文化プレイヤー全体の窓口です。
  - 8 **「事務局」**常駐スタッフで運営され、役員会に直属します。
  - 9 **「文化会議」**運営委員全員で構成される最高議決機関です。
  - 10 **「文化プレイヤー募集」**ディレクター（企画・進行）、プレイヤー（自分で演ずる）、サポーター（種々のボランティア）。
- それぞれ立場で実行委員会へ参加できず。興味あるプロジェクトに「加下さい」。



## — 全科診療 —

- 各種保険
- 救急・労災
- 更生医療（腎）
- 人間ドック（附属健診センター）
- リハビリ
- 中国バリ
- マタニティビクス

.....MAKITA GENERAL HOSPITAL.....

## 医療法人財団 仁 医 会 牧田総合病院

病 院	〒143-8505 東京都大田区大森北1丁目34番6号 TEL 03 (3762) 4671(代) FAX 03 (3762) 0759
附 属 健 診 セ ン タ ー	〒143-8505 東京都大田区大森北1丁目33番8号 TEL 03 (3762) 3379 FAX 03 (3762) 4037
牧 田 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	〒143-8505 東京都大田区大森北1丁目33番9号 TEL 03 (3762) 6131 FAX 03 (3762) 6132
牧 田 介 護 サ ー ビ ス セ ン タ ー	TEL 03 (3762) 1979 FAX 03 (3762) 6132
大 田 区 在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー 入 新 井	TEL 03 (3762) 4689 FAX 03 (3762) 7465

▼はみだし解説「お茶子さん」とは演舞場の入口で切符を切るなどの仕事をする人。▼はみだしプロフィール「春風亭朝之助 師匠・春風亭一朝」。本名 谷田正宏 たにだまきひろ。一九七〇年八月二十八日 静岡市生まれ。乙女座のO型。大田区中央在住。前座名「朝吉」。現在 77 歳。

私と大田区との縁はカミさんです。カミさんは、中央三丁目出身で、中学の時に姉妹都市のセーラム市に一週間程留学したり、区ラム市の前で英語でスピーチした事があつたそうです。



2月19日(水)の「たのしみ亭」に出演する春風亭朝之助さん。

池袋演舞場でお茶子さんのアルバイトをしていたのが縁で結婚し、池袋の方に住んでいて泥棒に入られ(笑)、子どもは二人いるし、何かあつたらカミさんの実家に面倒も見てもらえろと思ひ、一昨年の十月に引越してきました。

それで、住んでみるとこの街はざつぱらんで気取らない溶け込み易い所だと思ひました。

大学で落語研究会に入ったのが出逢いで、それまで落語に全く興味無かつたのが結構楽しくて夢中になり、落研コンテストで優勝し、大学を辞めて噺家になりたいと親父に言いましたら「自分で大学に

行きたいと言つたくせに、冗談じゃねえ授業料返せ」と怒られ、それで、アルバイトと寄席に通いながら大学を卒業し、半年後に諦め切れず春風亭一朝師匠に「弟子にして下さい」とお願いしました。師匠からは「何か間違いがあるといけない、保証人として親の同意がないとダメなので、親御さんを連れてらっしゃい、説得するのは君次第だね」と言われました。反対していた親父は「そこまでやる気だつたのか、じゃあ俺も行くよ」と、師匠のお宅まで来てく

長岡輝子さん、九十四歳の証言⑤

片山広子さんのこと

前回までご紹介致しました村岡花子さんを語る中で、私が忘れられない二人の女性がいらつしやいました。それは、歌人の柳原白蓮(やなぎはらびやくれん)さんとアイルランド文学者の片山広子(かたやまひろこ)さんです。今回は、大森にご縁がある片山広子さんについてお話ししましょう。

アイルランド文学というところ、あまり馴染みのない分野ですが、新劇とも深い関わりがあるのです。それはさておき、私と片山さんとのかわり合ひは、勿論東洋英和の先輩という事もありますが、もう一つは彼女のお嬢さんと私が文化学院大学の同級生という事もありました。

片山広子さんはお父様が外交官であつた事もあり、外国での生活も経験し、またその習慣にも馴れ親しんだ、いわゆる上流家庭のお嬢様で、掘辰雄さんがお書きになつた「聖家族」のモデルとも言われております。

そんな片山さんの、文学者としての実績は、片山さんと軽井沢のホテルで、偶然彼女が出会つた芥川龍之介さんも、賞賛の言葉を残

れて、それで入門が決まりました。師匠一朝はどちらかと言うと玄人好きな芸人で、派手さは無いんですが江戸っ子の出てくる噺が大変良く、レパートリーの広さにも惹かれました。「凄えな、この人しかいない!」と、ずーっと追つ掛けていたんです。落語家になりたいという気持ちと師匠一朝に惚れて惚れて今の自分があります。落語はマナーを学ぶのに大変役に立ち、隠居さんがハツあんに挨拶やお世辞の言い方を教えたり、昔の日本人が当たり前にしてた事をやっているだけなのが、学校が無い時代には耳学問として落語から色々学んだそうです。そして、登場人物を噺を聞いているお客さんに想像させなきゃダメという世界で、そう言う意味で落語は一種の催眠術なんです。マクラでお客さんをほくして本番の異次元へ。最後にオチで現実に戻すイリュージョン、つまり仮想空間です。だから必ず携帯電話した程のものと聞いております。

は切つておい、はいいんです。噺の途中で喋つてしまつて、今までの想像世界が全部消えちゃう訳で、もう一度その世界へ戻るのには難しいんです。それに、寄席は映画館と同じ感覚で、フラツと来れる場所、我々芸人はその時のお客さんを笑わせてナンボという世界で、だから寄席は修行の場なんです。意外と生で落語を聞く機会がみなさん無くて、寄席に言つた事は?と聞いても「無いです。笑点なら見たことあります」と。そういった意味で「たのしみ亭」の魅力は、この地元に着着した落語会を開催して下さるから、地域の方やご近所の方にぜひ来て頂きたいですね。この値段で、充実したラインナップで、じっくり噺を聴ける。やっぱり落語は生なんです。TVでは伝わらない声の迫力、表現、他では体感できない、凄く良いものです。ぜひ、聴いてみてください。

村岡花子さんのパネル資料展の報告

昨年九月一七日から二六日まで、文化の森一階の展示コーナーで「村岡花子さんのパネル資料展「愛と夢の贈りもの」赤毛のアン 翻訳五〇周年記念」と題する展示会を開催しました。二会場の方は、村岡花子さんのホームページで知り、わざわざ関西方面から駆けつけた方をはじめとする「赤毛のアン」のファンの方、欠かさず聴いたという方々などが新聞などでご覧になり、都内各所から詰め掛け、また、村岡花子さんはご自宅近所の子どもたちに童話の本を貸出してた事が、「私も借りに行きました」と懐かしく思い出している方など、期間中、大勢のみなさまにご来場いただきました。九月二〇日には、文化の森ホールで、女優の鈴鹿景子さんを朗読と進行役を迎えて、村岡花子さんのお孫さんの村岡美枝さん・恵理さん姉妹をゲストにお招きして、村岡花子さんの作品や、生前のエピソードなどを紹介する講演会が開かれ好評を得ました。そして、最後に特別ゲストで長岡輝子さんが登場すると、客席から驚きの声と大きな拍手がおきた事がとても印象的な講演会でした。



長岡輝子さんのお話の新たな展開です。今後の展開が更に楽しみです。

子どもたちに自信と明るさを!! 新家庭学習教材 ポピー ご家庭に笑顔と信頼をお届けする!! 他社教材を寄せつけない 新しい独自の学習システム 学校5日制に対応しています。 お問い合わせ先 全日本家庭教育研究会(全家研) ポピー大田・蒲田支部 〒144-0051 東京都大田区西蒲田4-11-5 TEL.03-3754-6633 FAX.03-3752-5656 E-mail: popy@kamata-music.co.jp 0120-877-415 新規会員受付中!! 幼児ポピー900円より/月 小学ポピー2,500円より/月 中学ポピー4,200円より/月

## 日本工学院専門学校

### テレビと歩み、最先端とローカルを意識

JR蒲田駅西口を出て右に進む。見えてくるのが「工学院通り商店街」。その中ほどに大小七つの建物がそびえ立つ。それが日本工学院専門学校。

#### ■蒲田西口の歴史とともに

「創美学園」という名前で創設されたのが一九四七（昭和二二）年五月。当初は絵画科と洋裁科の二学科で発足しました。一九五三（昭和二八）年、日本初のテレビジョン放送が行われたこの年、「日本テレビ技術専門学校」を設立。電子工学分野の総合学園としての第一歩を踏み出したのです。一九五六（昭和三一）年に「日本テレビ技術専門学校」、一九六四（昭和三九）年には「日本電子工学院」と二度の改称を経て、一九七六（昭和五一）年、「日本工学院専門学校」になり今に至ります。年配の方の中には今でも「日本電子工学院」と呼ばれる方が多く、学校の呼び方で、世代がわかるといいます。

現在では、蒲田校をはじめ、北海道校（登別市）、八王子校、そして東京工科大学（八王子市）を抱える大きな学校法人となっています。

#### ■「テレビ放送」を支える技術

学校法人の認可を受けたのが一九五六（昭和三一）年。「日本テレビ技術専門学校」という名称からもわかるように、日本の「テレビ放送」を支える学校として誕生しました。

一九六四（昭和三九）年の東京オリンピックの全国放送では、約三〇名の学生がNHKの技術補助員としてテレビの実況中継に参加以降、現在に至るまでテレビ放送

を支える多くの人材を輩出しています。

また、技術面でも一九八五（昭和六〇）年つくば科学万博が開かれた際に、学園の研究成果である「レーザーディスプレイシステム」を協力出展し、当時、新聞やマスコミに大きく取り上げられたそうです。

地域と歩み続けて、プロ意識を持ちながら、常に発展を続ける日本工学院専門学校ですが、地域とのつながりも大切にしています。区内で行われるイベントに授業の一環として協力しています。

毎年五月、洗足池に幽玄の情景を作り上げる「春宵の響」や、大田区主催の「OTAふれあいフェスタ」に放送メディア科の学生がスタッフとして参加。「フェスタ」では会場内の映像、音声関係を担当し、大田ケーブルネットワークで生中継を行なうなどプロと肩を並べ活動しています。

5号館1階のデジタルラボラトリー。



#### ■「最先端」と

#### 「最高の環境」を学生に

今回お話を伺ったのは芸術学部長、鈴木勝則先生。先生は学校の使命をこう言います。「学生には、常に最先端のものを、そして最高の環境を提供する」と。

蒲田校は芸術学部の他、工学部情報学部、医療学部の四学部体制ですが、どの学部においてもその姿勢は変わりません。最先端のAV機能を完備したマルチメディアホールや実習室など「教育環境の「情報化」を意識し、学生が高度な専門性と知識を習得できる学習施設としての配慮を常に意識しています」。

「最高の教育は、最高の環境が整ってこそ実現する」。この理念の基に最先端の環境を提供し売っています。

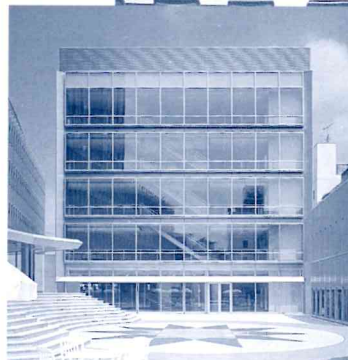
#### ■地域と歩み続けて

#### プロ意識を持ちながら

日本工学院の学生は、その実績から全国各地から集まっている。一方で、先のイベント協力のみならず、大田区内にいかにか学校の取り組みを知ってもらうかにも力を入れている。

現在、大田ケーブルネットワーク（第二京浜国道より東側がサービスエリア）では「メディアジャック」という番組を放送中。毎週月曜日から金曜日の午後六時から三〇分間、学生達の作品に触れることができる。また、大田区と協力して、落書きのあった学校そばのJR線ガード下の壁面を、学生達のアートで飾ったりと、まちづくりに関わっています。今後は、中高生など、若者達にも関心が届くような取り組みを考えたいという。

常に「最先端」を意識しながら、「ローカル」にも目を向ける、そうした複眼的な人材育成に努めているのです。



↑「バリアフリーをはじめ、ノーマライゼーション（高齢者や障害者も一緒に暮らす状態が正常という考え）が、この建物全てに意識されている。

最初の契機は、全日空のジャンボ機格納庫で行なわれた第一回目の「羽田エアポートコンサート」。大田まちづくり芸術支援協会との共同作業となった。「お客様用の数千個のいすを並べる作業でも、それがイベントの成功につながるという目的意識を持ち、常にプロ意識を持ち続けることを学生に意識させています」と鈴木部長。

#### 学校法人 片柳学園 日本工学院専門学校

#### 【概要】

設立：1947（昭和22）年5月  
 設置学部：工学部・情報学部・芸術学部・医療学部  
 現在、蒲田校には「メディアクリエイター系」「放送メディア系」「音楽・音響系」「演劇・声優系」「情報システム系」「情報ネットワーク系」「エンジニアリング系」「テクノロジー系」「医療・環境系」学科を設置。

所在地：大田区西蒲田5丁目23番22号  
 03（3732）1111（代表）  
 交通案内：JR京浜東北線・東急池上線・東急多摩川線「蒲田」駅西口より徒歩約3分

URL：http://www.neec.ac.jp e-mail: info@neec.ac.jp  
 関連学校：日本工学院八王子専門学校  
 日本工学院北海道専門学校 東京工科大学

**情報誌「おおた文化の森」協賛広告募集中！**  
 季刊発行：1・4・7・10月 年4回  
 1回のみ掲載も可能です。  
 発行部数 毎号20,000部！  
 配布先は大田区内主要施設他  
 詳しくは7頁をご覧ください。

お問合せ：大田文化の森運営協議会 広報部・情報誌担当まで  
 TEL：03（3772）0770  
 FAX：03（3772）0704  
 なるべくFAXで連絡下さい

**DADAKO**  
 熊谷恒子記念館 すぐそば

お洒落でアーティスティックな作品と出会えます。

毎月アーティスティックなテキスタイルや手づくりのガラス器などの展示をおこなっています。

- 2/3（月）～2/22（土） “春をみつけに” 弓削多満知子・真理クラフト展
- 3/3（月）～3/22（土） “光と風の路” 矢崎小恵・手染めニット展
- 4/3（木）～4/19（土） “ニットにアンティークを添えて” 長谷川恵子・ニット展

TEL.FAX. 03-3774-6822  
 http://www2.ocn.ne.jp/~g-dadako/  
 所在地：143-0025東京都大田区南馬込4-12-8 (Eメール) dadako@aioros.ocn.ne.jp

◆営業時間/AM11:30～PM5:00(※但し毎週/日・水・祝祭日は休廊)  
 ◆交通のご案内/都営浅草線の西馬込駅下車、南口改札を出て徒歩10分

# みなさんのおかげです

## 編集後記

□ まちづくりプロジェクト、ヤングストリートフェスティバルでの両委員長として勉強させて戴いております。昨年は様々な企画で地域の皆様のお世話になりました。今年もまだ続きます。区民の皆様のご参加、ご支援をご期待申し上げます。◆鈴木

◎ 日韓親善文化交流が発展して日本とコリアの交流へと発展。民間ならではの出来事です。世界平和の訪れを期待しています。◆山田

△ 文化の森は「出会いの場」です。新鮮な出会いが、より深い経験となって充実した人生への出発となるように願っています。◆河合

◇ 書き込み初めは新年会予定日と縁ある人々の誕生日だけ。私の手帳の一年後は？ ◆吉岡

○ 智に働けば角が立つ。情に棹せば流される。意地を通せば窮屈だ。だから、コミュニケーションの大切さをつくづく感じるこの頃。◆菅原

☆ 委員になりたての時は学生、去年は勤め人。そして今年は？期待と不安はいつも運営協議会といっしょ！ ◆加藤

情報誌「おおた文化の森」2003年 冬号  
2003年1月15日発行（季刊発行 通巻第6号）  
編集 大田文化の森 運営協議会広報部  
発行人 吉岡康子  
発行所 大田文化の森 運営協議会  
〒143-0024 大田区中央2-10-1  
電話：03(3772)0770  
編集協力 株式会社 恒和印刷所  
川田英樹 川田達也  
印刷 株式会社 恒和印刷所

## 情報誌「おおた文化の森」は、ここにあります。

情報誌「おおた文化の森」次号  
2003年「春号」は4月1日の発行を予定しています。

### 【区内主要施設】

大田文化の森1階階カウンター／ティラウンジすばる／区役所2階情報コーナー／区民プラザ／区民ホールアブリコ／池上会館／熊谷恒子記念館／龍子記念館／馬込文士村資料展示室／ライフコミュニティ西馬込／山王会館／区民センター／文化センター／エセナおおた／生活センター／勤労福祉会館／郷土博物館／産業プラザ／山草堂記念館／多摩川台古墳展示室／田園調布富士見会館／昭和のくらし博物館／特別出張所／地域行政センター／ゆうゆうくらぶ／青年施設／図書館／児童館／心身障害者施設／大田区体育館／大森スポーツセンター／ユースセンター

### 【近隣地域協力商店街】

大森柳本通り名店街（金海堂）柳会 山王ハーモニーAVE（大花園）新柳会（平林酒店）山王新三商店街（ちくたく）臼田坂下通り商店街（ミカドクリーニング）春日橋くすのき通り商店街（ウスダフォトスタジオ）観音通り共栄会（越前屋）他

### 【他の主要施設】

区内各地域の郵便局

## 施設紹介

### ティラウンジ「すばる」

## 「すばる」でチャレンジ!



「すばる」は大田文化の森と共に昨年11月3日に開店一周年を迎える事ができました。スタッフ一同、試行錯誤の連続ですが、お立ち寄り下さるお客様、文化の森関係者の方々に支えられ、運営も軌道に乗って参りました。

就労の場であると同時に実習の場として、中学生から成人まで様々な年齢、状況の方に1～2週間の実習を体験してもらっています。

「すばる」での挑戦が将来を考える好機となる事を望んで止みません。願わくば皆様にもどうぞ温かく見守って頂ければと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

● 営業時間 10:00～17:30 ●  
● 定休日 ●  
● 隔週月曜日・全館休館日 ●

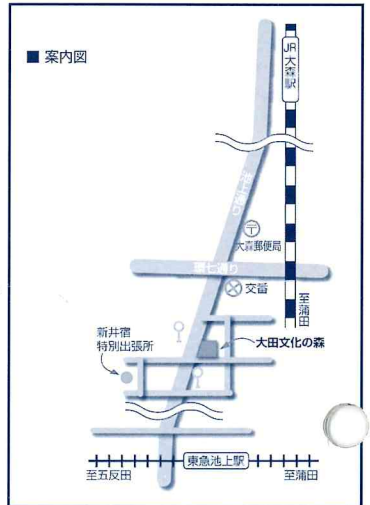
《 広報部会からのお願い 》  
情報誌「おおた文化の森」の置き場所をご提供いただける方、ご連絡ください。

大田文化の森運営協議会  
TEL: 03(3772)0770

## 大田文化の森運営協議会委員

会長 野村 銀市 (以下50音順)  
伊藤香弥子 加藤 光 河合良治  
河原佳子 鬼嶋 瑛治 北岡三子  
菅原正信 鈴木正昭 鈴木康紀  
染谷 昇 藤間 掬穂 山田皓一  
山本直子 吉岡康子

## 大田文化の森のご案内



大田文化の森開館時間 午前9時～午後10時、情報館は午後7時まで  
休館日：毎月第2木曜日、臨時休館日  
大田文化の森への交通機関  
●大森駅西口から東急バス池上方面行  
●蒲田駅西口・池上駅から東急バス大森駅・大井町駅・品川駅行いずれも「大田文化の森」で下車

## 健康ワンポイントアドバイス 第5回

“ちょっと待って！”

### 使い残しのお薬とインフルエンザの怖い話”

東邦大学医学部付属大森病院薬剤部医薬品情報室 吉原麗子

当薬剤部では患者様からお薬に関するご相談を受けることがあります。

その内容は多岐に渡りますが、「〇〇というお薬を昔もらったのですがこれはどんなお薬ですか?」、「〇月に子どもがもらった坐薬はまだ使えますか?」など明らかに使い残しのお薬をご使用になりたいと推測される場合があります。

ここで注意して頂きたいのがお様が風邪症状を訴えている時の解熱剤の使用についてです。インフルエンザは時として風邪、感冒とその症状の判別が付かない場合もあり、お子様の急な発熱時には手頃な解熱剤の使用をお考えになる場合も多いかと思えます。

しかし、解熱剤には、インフルエンザに罹っている時、使用を避けなければならないものがあります。

例えば、アスピリンなどのサリチル酸系と呼ばれる解熱剤は、15歳未満のインフルエンザの患者様へ投与しないことになっています。



●お薬は用法を守り指示された通り正しくご使用ください。

実際、昨年、医師の診断を受けずに使い残しの解熱剤を自己判断で同系統薬のボルタレンをお使いになり、インフルエンザ脳炎・脳症で亡くなられたという悲しいニュースが相次ぎました。

医療機関で処方されたお薬は、医師が患者様の症状に合ったものを必要な量お渡しするものです。

従って別の患者様に処方されたお薬は勿論、当人であっても別の受診時に処方されて使い残したものをを使用することは避けるべきです。

特にお子様の使い残したお薬は原則廃棄して頂き、また風邪症状が現れた時は自己判断せず、速やかに医療機関を受診して頂くことをお勧めします。

## 文化プレーヤー 大募集中!

～新たな文化活動のスタイルがここに～

文化プレーヤーとは運営協議会の実行委員会プロジェクト「誰でも楽しめるプロジェクト」「異文化交流プロジェクト」「子ども、若者のプロジェクト」「まちづくりプロジェクト」「種まき祭」「収穫祭」実行委員会のテーマに沿って企画作りや実行に参加するとともに、「文化プレーヤー会議」を開催し、文化プレーヤーの新しい方向性を創り、運営協議会と一緒に活躍していただきます。その文化プレーヤーの活動の内容は、

- ディレクター：企画・進行を担います。
- プレーヤー：自分の能力で自ら演じます。
- サポーター：種々の場面でのボランティアです。

また、文化プレーヤー会議や活動の事務的な管理を担っていただける方も募集しております。

文化プレーヤーは、みなさんそれぞれの立場で、興味あるプロジェクトにご参加いただけます。

詳しくは運営協議会・文化プレーヤー担当までお問合せください。☎：03(3772)0770

## 村岡花子さんのホームページとオープンハウスをご紹介します

### 赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

ホームページ <http://club.pop.ne.jp/~r.miki/>  
メール e-mail: r.miki@pop.ne.jp

オープンハウス（資料館）の公開は不定期公開です。見学をご希望の方は、上記のメールアドレスか下記のFAX番号へお問合せください。

FAX: 03(3771)0687

《 ご意見・ご感想を 》 郵送の場合は3頁の住所をご参照下さい。情報誌「おおた文化の森」へご意見・ご感想をお寄せ下さい。e-mail: bunkanomori@nifty.com / FAX: 03(3772)0704

